

除草剤

速く効く！ 幅広く効く！ SU抵抗性雑草に効く！！

# 驚きの“ピラクロ”効果



ミズアオイ



アゼナ



ホタルイ



ノビエ



ヘラオモダカ



ヨサギ



ヒルムツロ



オモダカ



ウリカワ

水稲用初期除草剤

# ピラクロニル 1キロ粒剤フロアブル

ピラクロニル 1.8% [1キロ粒剤：農林水産省登録 第22087号]

ピラクロニル 3.6% [フロアブル：農林水産省登録 第22088号]

®は協友アグリ(株)の登録商標です。





# 水稲用初期除草剤

# ピラクロン<sup>®</sup> 1キロ粒剤フロアブル

## 特長

- ノビエだけでなく広葉、カヤツリグサ科など幅広い雑草に高い効果を示す。
- SU抵抗性雑草に対しても同様に幅広い効果を示す。
- 効果の発現が非常に速い。
- 温度による効果の変動が少ない。

## 適用雑草の範囲及び使用方法

### ピラクロン 1キロ粒剤

登録番号 第22087号

●有効成分(一般名)ピラクロニル：1.8% ●人畜毒性：普通物

作物名	適用雑草名	使用時期	10a当り使用量	適用土壌	本剤の使用回数	使用方法	ピラクロニルを含む農薬の総使用回数	適用地帯
移植水稲	水田一年生雑草及び マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ(北海道、東北) ウリカワ ヒルムシロ オモダカ(北海道、東北を除く)	移植時	1kg	砂壌土～ 埴土	1回	田植同時 散布機で施用	2回以内	全域の普通期及び 早期栽培地帯
		移植直後～ノビエ1.5葉期 ただし、移植後30日まで				北海道		
		播代後～移植4日前又は 移植直後～ノビエ1.5葉期 ただし、移植後30日まで				全域(北海道を除く)の 普通期及び早期栽培地帯		

### ピラクロン フロアブル

登録番号 第22088号

●有効成分(一般名)ピラクロニル：3.6% ●人畜毒性：普通物

作物名	適用雑草名	使用時期	10a当り使用量	適用土壌	本剤の使用回数	使用方法	ピラクロニルを含む農薬の総使用回数	適用地帯
移植水稲	水田一年生雑草及び マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ(北海道、東北) ウリカワ ヒルムシロ オモダカ(北海道、東北を除く)	移植時	500ml	砂壌土～ 埴土	1回	田植同時 散布機で施用	2回以内	全域の普通期及び 早期栽培地帯
		移植直後～ノビエ1.5葉期 ただし、移植後30日まで				北海道		
		播代後～移植4日前又は 移植直後～ノビエ1.5葉期 ただし、移植後30日まで				全域(北海道を除く)の 普通期及び早期栽培地帯		

## ▲ 使用上の注意事項

### 2剤共に共通する注意事項

- 使用量に合わせ計量し、使い切ってください。
- 本剤は雑草の発生前から発生初期に有効なので、ノビエの1.5葉期までに蒔播を失しないように散布してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果に差が出るので、必ず適期に散布するように注意してください。ホタルイ、ヘラオモダカ、ウリカワ(但し、東北は発生前まで)では発生初期まで、ヒルムシロでは発生前まで、オモダカでは発生前が本剤の散布適期です。またオモダカは発生期間が長く強い発生のもので十分効果を示さないで、有効な後期薬剤との組み合わせで使用してください。
- 軟弱苗を移植した水田、硬軟な浸水をした水田、硬軟な深水となった水田及び砂質土で深水の大きな水田(深水深2cm/日以上)では薬害を生ずる恐れがあるので使用しないでください。
- 播代後から移植4日前までに使用する場合は、水田の代かき、均平は丁寧に、浮遊物のつろくすなどのこみは出来るだけ取り除いてください。散布後は少なくとも3～4日間は通常の灌水状態(灌水深3～5cm)を保ち、散布後7日間は灌水、かけ流しはしないでください。散布後は4日以上の乾涸をおいて苗を移植してください。また、移植時にやむを得ず灌水する場合は、一畝に大量の水を流さないよう注意してください。
- 本剤はその稲葉特性から、いぐさ、れんこん、くわいなどの生育を阻害する恐れがあるので、これらの作物の生育前に移植田で使用する場合は、十分注意してください。
- 移植水稲を栽培した後にいぐさを結実する水田では使用しないでください。
- 本剤散布後の田間水を作物等に灌水しないでください。
- 容器等は畑場などに放置せず、適切に処理してください。

本資料の記載内容は2009年9月現在の登録内容に基づいています。

★使用前にはラベルをよく読んでください。 ★ラベルの記載以外には使用しないでください。 ★本剤は小児の手が届く前には置かないでください。 ★空容器・空袋は畑場などに放置せず、適切に処理してください。

- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、農薬補助所等関係機関の指導を受けてください。
- 水産動植物(藻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に用散、流入しないよう注意して使用してください。
- 散布後は水質管理に注意してください。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないように適切に処理してください。
- 直射日光を避け、食品と区別して、なるべく乾室で乾燥した場所に密栓して保管してください。

### 1キロ粒剤の注意事項

- 移植後に使用する場合は、水の出入りを止め灌水状態で均一に散布してください。本剤散布後、少なくとも3～4日間は通常の灌水状態を保ち、田間を露出させたり水をさらしたりしないでください。また、散布後7日間は灌水、かけ流しはしないでください。
- 本剤は動に対して有効性があるので、田に入った場合には直ちに水洗し、薬剤医の手当を受けてください。

### フロアブルの注意事項

- 使用前に容器を軽く割ってください。
- 移植後に使用する場合は、水の出入りを止め灌水状態で本剤が水田全体にゆきわたるよう散布してください。本剤散布後、少なくとも3～4日間は通常の灌水状態を保ち、田間を露出させたり水をさらしたりしないでください。また、散布後7日間は灌水、かけ流しはしないでください。
- 動に対して影響があるので、田間の農薬にはかからないようにしてください。
- 散布の際は手袋、長丈ボトム・長袖の作業服などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。



2009年9月作成 70,000部発行